

宝塚景観まちあるきガイドブック

宝塚景観まちあるき冊子（ガイドマップ）について

宝塚の地形は大阪湾から大きく奥に入り込み、北側に中山連山（長尾山山系）、西側に六甲山系があり直角に山並みの屏風で囲まれています。その真中を武庫川が流れ下り、西側に河岸段丘が発達し、東側には伊丹台地が形成されています。この地形構造が宝塚特有の景観を作っています。

山々の山麓、武庫平野に住宅地が形成され私たちが住んでいます。山裾や中腹には社寺や文教施設なども立地し、山と川と平地が一体となった景観は他市には見られない宝塚特有の特色です。

世界的ブランドとして宝塚歌劇がありますが必ずしも市民生活に深くかかわりがあるものではありません。

唯一他市に誇れるものは「地形・地勢条件」と「景観」です。地形・地勢は景観や風景をつくり、歴史・文化を生み出し、環境を育てます。

直角に囲まれた山々と真中を流れる武庫川とその支流が、3次元（3D）立体景観と文化的景観を創り出し、宝塚の重要な個性と魅力資源であるといえます。

これまでこの主要な魅力資源を上手に活用してきたとは言えません。私たちはこの地形の上に暮らし生活していますが、この特徴を理解し上手に活用することによってより豊かな生活を享受できると考えています。これらの地形や山々が急峻であれば壁のように感じますが、宝塚の山々はほど良い角度で見ることができ、都市景観にゆとりや豊かさを提供しています。

また、市街地に残された樹林や緑地はかつて手塚治虫が昆虫採集をした森のように、市民生活に潤いと安らぎを与えてくれます。

これら宝塚南部市街地の景観構造を以下の視点から調査分析し、景観まちあるきコースを提案しました。

①主な視点場（景観眺望ポイント）から「日本の名所への角度調査結果（景観の構造・樋口忠彦）」を応用し宝塚の景観分析を行いました。

●視点場：主な景観眺望ポイント

●仰角：見上げる角度5°～12°

●俯角：見下ろす角度5°以下

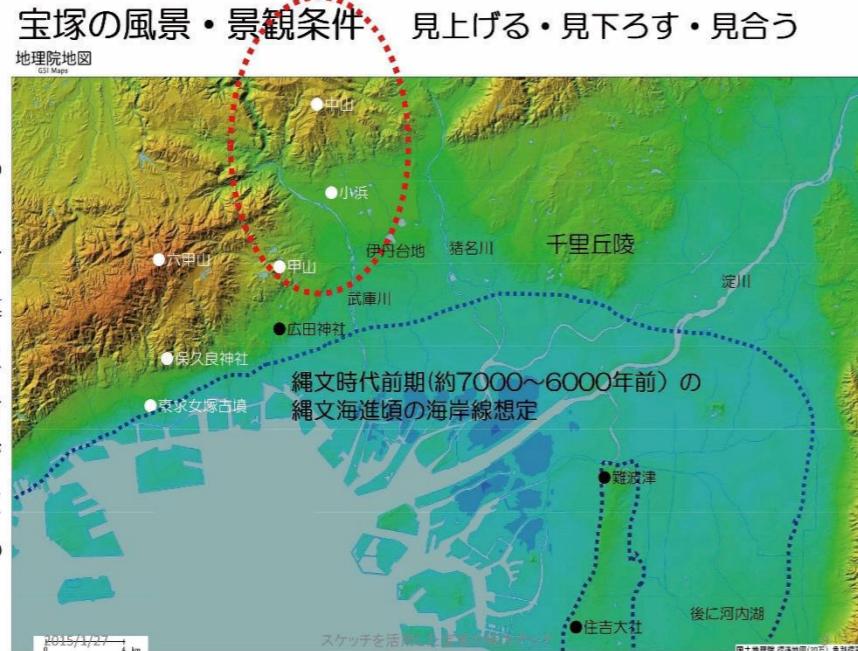
●見合う景観

②地区計画や景観計画特定地区など景観づくりに配慮されている地区の概要把握。

③お勧めコースとして提案しました。

⑩安倉地区

●宝塚の地形的特徴



●景観の構造分析結果より

日本の名山と視点場からの仰角
(景観の構造・樋口忠彦より)

①庭園から望まれる名山のほとんどの仰角は12°から5°の範囲で平均8.8°±1.1°

②代表的な眺望点から望まれる名山の仰角は平均9.1°±1.5°

③日本人が親しんでいた山は8.7°±1.0°

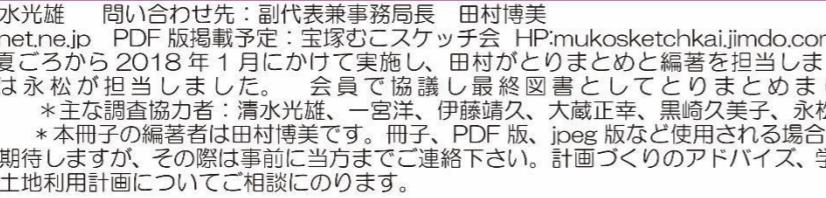
●仰角5°以下の山
スカイラインが視覚的に卓越した重要性をもつ。頭部の上下運動を伴うことなく、眼球運動のみで容易に山容全体をのぞむことができる山である。

●仰角5°近傍の山

スカイラインばかりではなく、山腹にも興味がもたれる。視野としては山容全体を容易に見越すことができ、スカイラインも容易に望める山である。

●地区計画や景観計画特定地区など景観づくりに配慮されている地区の概要把握。

●お勧めコースとして提案しました。



*調査分析・冊子発行主体：宝塚景観まちあるき会 代表 清水光雄 問い合わせ先：副代表兼事務局長 田村博美
TEL&FAX:0798-53-3906 E-mail : tam-hiro@gai.eonet.ne.jp PDF版掲載予定：宝塚むこスケッチ会 HP:mukosketchkai.jimdo.com
本調査および分析は宝塚景観まちあるき会員が2017年夏ごろから2018年1月にかけて実施し、田村がとりまとめと編著を担当しました。
地区計画および景観形成計画等の取りまとめ比較表は永松が担当しました。会員で協議し最終図書としてとりまとめました。
ベース図は宝塚市都市計画課から提供していただきました。
*主な調査協力者：清水光雄、一宮洋、伊藤靖久、大蔵正幸、黒崎久美子、永松寛喜、廣田雅良、松本立志、山本敏晴、清水栄治、田村博美です。
*本冊子の編著者は田村博美です。冊子、PDF版、jpeg版など使用される場合は著作権にご留意ください。またまちづくりなどに活用されることを期待しますが、その際は事前に当方までご連絡下さい。計画づくりのアドバイス、学習会、研修会など景観だけでなくソフト・ハードのまちづくり計画や土地利用計画についてご相談にのります。

宝塚景観まちあるきガイドブック

●宝塚の景観調査分析

宝塚の景観を①視点場 ②見上げる角度（仰角） ③見下ろす角度（俯角） ④見合う景観 ⑤面白い変わった景観・風景 ⑥困った景観 ⑦宝塚の主な景観軸 ⑧地区計画及び景観計画特定地区・都市景観形成地域の決定地区の状況 ⑨保護樹木、自然林 ⑩民話といった点から調査分析しました。

そのうえでお勧めの散策コース、眺望コースを地図上で記載しました。

市民の皆さんが出歩くことがより良い景観づくりをサポートすることにつながります。

ぜひこの冊子をもってお出かけ下さい。

■地図の凡例

視点場（見る場所）：

景観方向：

見上げる

見合う

見下ろす

景観ポイント：

面白い景観

変わった景観

トイレのある施設：

交番

①仁川地区

②武庫川地区

③逆瀬台地区

④逆瀬川地区

⑤宝塚駅前地区

その他①～④

⑥宝塚駅前地区

その他②～⑯

⑦すみれガ丘・

川面・清荒神地区

⑧壱布・小浜地区

⑨中筋地区

⑩安倉地区

⑪中山台地区

⑫山手台地区

⑬雲雀丘地区

⑭長尾台地区

宝塚はたぐいまれな3D立体景観都市

六甲山系の山々

①見上げるA

②見下ろす

①見上げるB

長尾山・中山の山々

武庫川

①奥に歌劇場など

③山裾高台に寺社

・塔など山裾に街道筋

②手前に武庫川

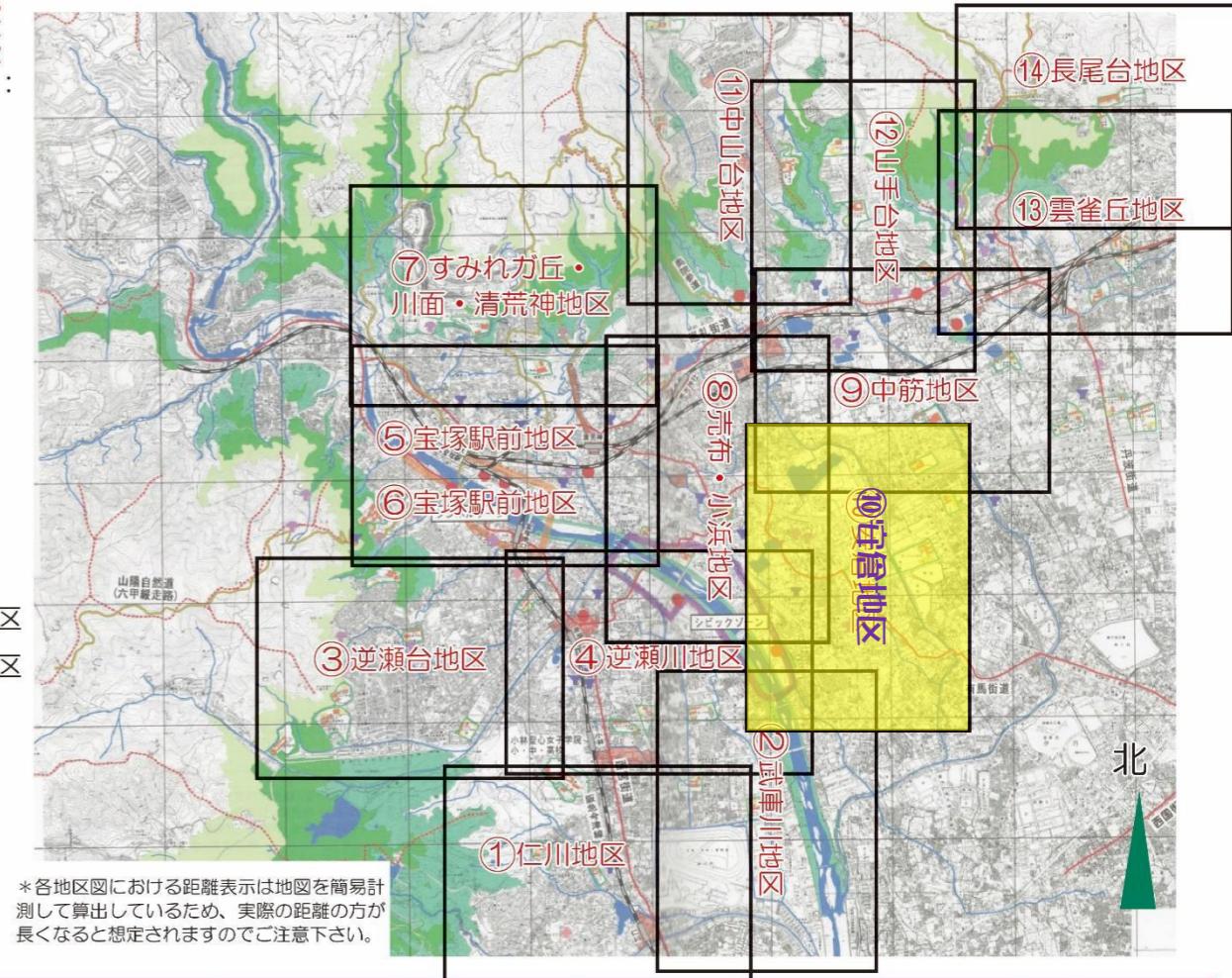
中心軸景観

2015/1/27

スケッチを活用した宝塚の魅力アップ

20

●宝塚市南部市街地14地区区分



*調査には不十分な点もあるかと思います。またおすすめコースはあくまで会の判断で提示していますので責任は当会にあります。なお本冊子を利用して散策などされる際には住宅地の環境に十分留意し、ご近所の迷惑にならないようお願いします。

